

## 大山登山マラソン参加

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、3月13日（日）、募集・広報活動の一環として、事務所担当地域である伊勢原市及び同教育委員会が主催する「第31回大山登山マラソン」に所長以下2名が参加した。同大会は、伊勢原市の小田急線伊勢原駅北口から大山阿夫利神社下社までの高低差650mのコースで行われ、全国から約2500名が参加し、7キロ過ぎからゴールまで1610段の厳しい石段が続く大山路を駆け上がった。

二人は「自衛隊神奈川地本」のユニフォームを身につけ精強自衛隊をアピールし、沿道からの「自衛隊頑張れ」の掛け声に励まされ、地元伊勢原担当広報官の佐々木3空曹は目標タイムを大幅に短縮、所長の平一尉は年代別5位となり伊勢原市長及び大山阿夫利神社からそれぞれ表彰を受けた。

平塚地域事務所では、「自衛隊に対する正しい理解と自衛官を志願してくれることを期待し、様々な場面で精強な自衛隊をPRしていきたい」としている。



スタート前



表彰を受ける事務所長

## 専修大学体育寮で自衛隊説明会

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、3月15日（火）神奈川県伊勢原市にある専修大学体育寮においてラグビー部の学生約50名に対し「自衛隊説明会」と題し、自衛隊の紹介と質疑応答を行った。今回は、担当広報官の自衛隊説明会の実施依頼に対し、将来社会に出ていく学生に進路の一つとして、是非、自衛隊を知ってもらいたいというラグビー部監督等の意向で実現した。

自衛隊の紹介では、自衛隊の現況と日本を取り巻く安全保障環境及びこれまで行った国際貢献活動の説明を行った後、自衛隊に入隊してからの生活状況を、学生にも理解容易なように写真を使って説明をした。説明を聞いた学生からは、「自衛隊には自分の適性にあつた幅広い多種多様な職種があり、ニュースやメディアで情報とは違う実情が判り非常に興味が沸いた」などの感想が聞かれた。

自衛隊では全自衛隊ラグビー大会も開催しており、監督からは、「今後も学生の進路について相談できる環境を築いていきたい」との話もあり、成果があったと感じている。

平塚地域事務所では、「自衛隊に対する正しい理解と、興味をもってもらえるよう今後も紹介できる場を設けていきたい」としている。



自衛隊の説明を真剣に聞く学生たち